



# プルンプザック

年齢：5才から  
人数：2～5人  
時間：約15分

<セット内容>



カード  
49枚



プルンプザック  
1枚

## ※ゲームの目的※

8枚のカードに描かれた絵をよく覚え、プルンプザックが止まった所のカードを言い当てます。正解するとプルンプザックは次々に移動していきます。すでに言い当てたカードにプルンプザックが止まるとそのカードがもらえ、いち早く6枚のカードを集めた人の勝ち！

## ※ゲームの準備※

プルンプザックを脇によけときます。49枚のカードをよくきり、8枚のカードを表向きにして輪になるように並べます。残りのカードは伏せて山にして輪の中央に置きます。(下図)プレイヤーは全員この表向きの8枚のカードをよく見て、カードの絵を覚えます。(矢印の方向と数字は覚える必要はありません)約30秒後に全てのカードを裏向きにしてゲームスタート！



重要：  
カードの矢印が外側にくるようにして並べます。ゲームの進行中にカードをめくるとき、いつも矢印が外側になるように置かなければなりません。

## ※遊び方※

もっとも年齢の低い人からゲームを始め、カードの絵を当てていきます。ゲームを簡単にするために、そのときの順番になっているプレイヤーの名前を呼んであげましょう。

1. いちばん最初のプレイヤーの右隣りの人がプルンプザックを好きなカードの前に置きます。



2. そこで自分の順番のプレイヤーはカードの下に何の絵が隠れているかを答えなければなりません。はっきり大きな声で答えを言ってからカードをめくります。



3. プレイヤーが正しく答えると、開いたカードはそのままにしてプルンプザックをカードの矢印の方向に、書かれた数字分だけ進ませます。



4. 続けてそのプレイヤーはプルンプザックが止まったところのカードに何が隠れているかを答えます。はっきり大きな声で答えを言ってからカードをめくります。



5. プレイヤーが正しく答えるうちは、その人の順番が続き、プルンプザックも進み続けます。プルンプザックはいつも最後にめくったカードに書かれた矢印の方向に、書かれた数字分だけ進んでいきます。



6. 次にプルンプザックが止まったところは、すでに開かれたカードの前でした。プレイヤーはラッキーです。プレイヤーはプルンプザックが最後に止まったカードをもらい、自分の前に伏せて置きます。



7. カードが取られて空いた場所に新たに山から1枚、補充します。みんなにカードの絵柄を見せるようにして、空いた場所に置きます。プレイヤー全員がこの新しいカードを覚えたら、開いているカードを全て裏向きにして、時計回りに次のプレイヤーの順番となります。



重要：  
もし自分の順番のプレイヤーがカードの絵柄を間違えて答えたら、自分の順番は終わりです。めくったカード全てを裏返し、次のプレイヤーの順番になります。  
いつでも、チャレンジする右隣の人がプルンプザックを好きなカードの前に置くことができます。  
このようにしてゲームを進めていきます。

## ※ゲーム終了※

いち早く6枚のカードを集めた人が勝ち！  
みんなで話し合ってこのカードの枚数を減らしたり増やしたりすることもできます。

## ※入門・応用編※

ゲームを少し簡単にしたいという人は、輪に並べるカードの数を減らすこともできます。最初は6枚で始めて、慣れてきたら7枚、8枚とカードを増やしていくといいでしょう。  
ゲームをもっと難しくしたいという人は、もちろん8枚以上のカードを使ってゲームすることもできます。